

次号予告

特集1 続・学生たちのOR研究

特集2 新たなOR教育の試み

メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●近年、夏季休暇などの期間を活用して学生が企業において就業体験を行うインターンシップの数が増えています。企業内におけるデータ分析・OR活用をミッションとする私の所属するチームでも、この編集後記を書いている8月現在、学生の受け入れを行っている最中です。受け入れを行う度に、インターンシップは企業にとって単に社会貢献ではなく、「会社の眼」に染まっていない学生の視点から新たな示唆を得る重要な機会であると感じます。

●本号の特集テーマは「学生たちのOR研究」でした。普段企業で働く中では、学生の研究に触れる機会は決して多くなく、数十本にわたるさまざまな研究を一望する中で、そのレベルの高さと純粋な課題意識の鋭さに改めて驚かされました。

●学生の研究の中には、実世界の課題に即したテーマも多く見受けられました。活用寄りのテーマの実施にあたってはデータ取得が課題となることも多いですが、企業の抱えるたくさんのデータとのマッチングは依然として発展途上かと思います。また企業におけるデータ活用の盛り上がりにより、こうした研究を行ってきた人材へのニーズは高まっていると思われます。インターンシップもその一環ではありますが、学生と企業のマッチングの機会もいまだ十分とは言えないでしょう。大学と企業を研究レベル・人材レベルでどうつないでいくか、学生たちの多様な成果が集まった特集記事を読みながら、学会としての役割の重さを改めて感じました。(笹谷俊徳)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 猿渡 康文 (筑波大学)

特集担当編集委員 鶴飼 孝盛 (慶應義塾大学)

委員 池辺 淑子 (東京理科大学)、石井 儀光 (国立研究開発法人建築研究所)、井床 利生 (日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所)、鶴飼 孝盛 (慶應義塾大学)、小林 隆史 (立正大学)、坂本 英夫 (株式会社東芝)、佐久間 大 (防衛大学校)、笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社)、佐藤 圭介 (公益財団法人鉄道総合技術研究所)、高野 祐一 (専修大学)、中原 孝信 (専修大学)、生田目 崇 (中央大学)、蓮池 隆 (早稲田大学)、原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成28年10月号 第61巻 第10号 通巻670号

代表者 大山 達雄

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。